

研究課題名	膀胱がんに対する根治的膀胱全摘術後に再発・転移をきたした症例の予後に関する研究（多施設共同研究）
研究機関名	武蔵野赤十字病院、東京大学、虎の門病院、 がん・感染症センター都立駒込病院、日本赤十字社医療センター、 同愛記念病院、都立墨東病院、三井記念病院、東京逋信病院、 国立国際医療研究センター
研究責任者	所属 泌尿器科 氏名 田中 良典
研究期間	平成 26年 6月 ～ 平成 29年 5月
研究の意義・目的	膀胱がんに対して根治的膀胱全摘除術を施行し術後に再発転移を生じた症例の、臨床経過を明らかにし、予後を予測する臨床病理学的諸因子を同定すること。
研究の方法 (対象期間含む)	武蔵野赤十字病院において2004年3月1日から2010年11月30日までの間に根治的膀胱全摘除術を施行し、術後経過観察中に転移再発を生じた膀胱がん患者 調査対象項目：診療録（カルテ情報）ならびにCT、MRIなどの画像情報、血液データ。膀胱全摘術中の所見、病理学的情報、術前後に実施された化学療法の有無及びその詳細、再発後に実施した救済化学療法の詳細、再発後の転移巣に対する切除手術の実施の有無
個人情報の取扱い	個人情報とは、当院の個人情報に関するガイドラインに従って、厳重に保護され慎重に扱う。本試験の登録患者氏名は外部施設および外部の研究者に知られることはない。患者情報は連結可能匿名化のうえ、データベース化するものとする。匿名化の連結表には、登録時に発行される登録番号・患者イニシャル・カルテ番号を記載し、データ本体と分離して、各施設の研究協力者が外部記憶媒体に保管し、厳重に施錠して管理する。データは研究の結果を公表するまでは研究責任者により厳重に保管され、公表後一定期間の後に破棄される。 本研究成果は学会発表や学術雑誌で公表することがある。ただしいかなる場合でも被験者個人及び家族の氏名などプライバシーに関する個人情報は十分に尊重保護し、一切が外部に漏れることがないように配慮する。
問合せ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 泌尿器科 氏名 田中 良典  TEL：0422-32-3111（代表）6813（事務局内線） FAX：0422-32-3525